区分

基本目標

基本事業

事業期間

事業概要 (事業のあらまし)

計画等での

位置付け

整理番号

事務事業名

合計画体系

期 基本計 施

画

平成20年度実績事務事業評価シート

総合計画 前期基本計画主要事業

✓ 平成20年度重点事業

自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業

小学生医療費助成事業

年度	実績事務事業	評価シート	(	Aシー	<b>(</b> 1)		作成日・	平成21	年9月15日	
01-03	30202004-01	•	般			事業態核		継続		
学生医療費助成事業			区分 会計	コード	一般会	.≑L	名	称		
コード	名	称	款	3	民生費					
3	共に支えあうやさしいまちづくり		項	2	児童福	祉費				
3			目	1	児童福	児童福祉総務費				
1	子育て支援の充実		細目	6	小学生入院医療費助成事業					
1			細々目	1	小学生入院医療費助成事業					
	子育てしやすい環境の整備		枝番号	1						
1				事業の 法令等	√ 有	本呂巾/	小学生医療費	の助成に	関する条例	
	単年度 ✓ 単年	三度繰返し	期	間限定複	数年度	(	年	度~	年度 )	
小学生の保護者に対して、小学生が医療機関に受診した際の保険給付の一部負担金等の額を助成する。助成方法は、平成21年1月より県内一円、医療機関の窓口で医療費を原則として支払わない現物給付方式とした。    総合計画 前期基本計画主要事業 担当部課等 生活福祉部 子ども福祉課										
総合	介計画 丽期基本計画	11王罗事莱		担当	自部課等	主 生活	5福祉部 (1)	<b>-</b> f	- ども福祉課	

児童福祉係

一次評価者 (課長等名)

記入者 野 内 秀

郁 夫

国 分

夫

1 行動方針 (PLAN)

	[] \$1/7 at (1 Lint)										
事	対象(誰を、何を)	小学生の保護者、小学生									
業目的	意図→目指す成果			区分	指標名	単位					
	(対象をどのよう な状態にしたいの	医療費の一部を助成することにより、保護者の経済的負担 の軽減を図る。小学生の健康保持増進のため、疾病の早期		成果	① 助成総額	千円					
	か)	発見と早期治療を促進する。 		指標	② 助成総件数	件					
_	r cn.			区分	指標名	単位					
手段 (事業の具体的な		医療機関受診→医療機関が支払基金に請求→支払基金が医療機関に支払い→支払基金が市に一部負担金相当額を請求		活動	① 助成申請総額	千円					
F	内容、手順等)	→市が支払基金に支払い		指標	② 助成申請総件数	件					

担当係

- 2 実施 (DO)
- ○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(注	決算)	平成21年度	(決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円	
	共済費	53					
	賃金	421					
	需用費	11					
直接事業費	役務費	165					
	委託料	3,850					
	使用料及び手数料	84					
	扶助費	4,676					
	繰出金	835					
	①事業費計	10, 095	①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数 (年)		②人数(年)		<b>&amp;</b> 人数 (年)		
	③平均人件費		③平均人件費		③平均人件費		
	4=2×3	,	$4=2\times3$		4=2×3		
総事業費 ①+④		12, 677					
	国庫支出金						
	県支出金				\		
財源内訳	使用料及び手数料						
	地方債						
	その他						
	一般財源	12, 677				`	

### ○事務事業の実績

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	① 助成申請総額	千円	5, 511			
	② 助成申請総件数	件	1, 892			

## 本宮市行政評価システム

## ○事務事業の成果

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	1	助成総額	千円	5, 511	45, 300	45, 300	45, 300
<b>以</b> 不相保	2	助成件数	件	1,892	23, 000	23, 000	23, 000

# 3 評価 (CHECK) 【1次評価】

	1 火	(評価)				
		項目	区 分		選択理由の説明	項目評価
目的	1	意図が政策・施策体系と結 びついているか?	<ul><li>■ 結びつかない</li><li>✓ 結びついている</li></ul>		子育て支援に充実と心と体の健康づくりの推進に結びつく。	✓ 適切 やや不適切
妥当性	2	市が行うべき (関与すべ き) 事業か?	○ 行う必要がある ○ 行う必要がない		小学生の医療費負担を助成するためのものであり、 市が行う必要がある。	不適切
有効	1	目的を達成するための手段 (実施方法)は有効か?	<ul><li>✓ 有効である</li><li>○ やや有効でない</li><li>○ 有効でない</li></ul>		従来までの償還払いから、窓口負担のない現物給付に切り替えたことにより、利用者の負担軽減が図られており実施方法は有効である。	<ul><li>✓ 適切</li><li>○ やや不適切</li><li>○ 不適切</li></ul>
姓	2	成果指標の目標値の達成状況は?	<ul><li>✓ 順調である</li><li>○ やや順調でない</li><li>○ 順調でない</li></ul>	$\Rightarrow$	申請者全員に給付がなされており達成状況は順調である。	
効素	1	投入した事業費又は人員に 見合った効果は得られてい るか?	<ul><li>✓ 得られている</li><li>○ やや得られていない</li><li>○ 得られていない</li></ul>		事業費、人員とも最小限で実施している。	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ やや不適切</li><li>✓ 不適切</li></ul>
率性	2	効率的な方法で実施されて いるか?	✓ 実施されている  ☐ やや実施されていない  ☐ 実施されていない	$\Rightarrow$	事務手法について簡素化を進めている。	
公平性	1	受益者の負担が適正かつ特 定の個人や団体に偏ってい ないか?	<ul><li>■ 馴染まない</li><li>■ 適正である</li><li>☑ やや適正でない</li><li>■ 適正でない</li></ul>	$\Rightarrow$	現在の対象が小学生のみであるため、公平性の観点 から見るとやや適切でない。	<ul><li>■ 適切</li><li>✓ やや不適切</li><li>■ 不適切</li></ul>
[ :	【2次評価】					
<u></u> 全体評価						

全体評価	意   見
適切	
□ やや不適切	
一 不適切	

4	1 評価による行動 (ACTION)									
		【1次評価】	【2次評価】							
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)						
2 0 年度	<ul><li>拡大・重点化</li><li>手段等の見直し</li><li>型 現状継続</li><li>廃止・休止</li><li>完了・終了</li></ul>	○対象年齢の拡大 →制度拡充が21年1月から実施されたばか りであり、助成対象を拡大することは成果 の向上となるがコストも増加するため、今 後の給付の推移を見極めた上で対象年齢の 拡大をしたい。	<ul><li>拡大・重点化</li><li>手段等の見直し</li><li>現状継続</li><li>廃止・休止</li><li>完了・終了</li></ul>							
19年度	拡大・重点化     手段等の見直し     現状継続     廃止・休止     完了・終了		放大・重点化   手段等の見度   現状継続   廃止・休止   完了・終了							
18年度	拡大・重点化   手段等の見直し   現状継続   廃止・休止   完了・終了		拡大・重点化   手段等の見直   現状継続   廃止・休止   完了・終了							